

ふれあい情報

2024年3月19日(火) 第380号

■発行 日本退職者連合
■発行人 野田那智子
■連絡先 〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



第4回幹事会出席者のみなさん (連合会館203会議室)

日本退職者連合 第4回幹事会を開催

3月13日、退職者連合は第4回幹事会を開催しました。会議では、連合アクションデモへの参加などの各種取り組み報告およびこの間、厳しい財政状況を踏まえて議論を進めてきた「財政基盤検討委員会」からの答申内容と各ブロックからの活動報告を受け、その内容について全体で確認しました。また、第28回定期総会の議案書素案や高齢者集会開催に向けた取り組みについて確認しました。

人見会長あいさつ

自民党派閥による裏金問題の政治倫理審査会が行われてきたが疑惑の解明は全くできていない状況である。岸田政権は国民に顔を向けた政治が全くできていない。何としてもいまの政治を変えていかなければならない。



挨拶をする人見会長

今年中には解散総選挙が想定されるが、一日も早く国民に政治へ信頼を戻すために取り組みを強めていく。

イギリスの国際戦略研究所の発表では、昨年の世界の軍事費は3兆2千億ドルとしています。日本円にすると330兆円となり、日本の国家予算の3年分となる。これはロシアのウクライナ侵略による危機などにより軍事防衛費を増やさざるを得ない状況が影響していると思う。

本来なら国民生活に回すべき予算が、ミサイル購入や軍事費に使われることについて我々は指摘をしていかなければならない。そして、平和で国民生活がより豊かになるような政策を求めていくことが重要である。

私たち日本退職者連合も微力ではあるが無力ではないことを示していきたいと思っ

ている。本日の幹事会では来期の運動方針等の提起もさせていただくのでよろしくお願

野田事務局長より 報告・提起



野田事務局長

人見会長の挨拶後、野田事務局長より各種委員会や取り組み内容について報告を行いました。

また、「財政基盤検討委員会」から退職者連合に対する答申内容について、当該委員会森嶋委員長より、退職者連合運動の安定と前進を図るために財政基盤確立に向けたポイントについて報告がされました。



財政基盤検討委員会の報告をする森嶋委員長

「財政基盤検討委員会」

答申内容のポイント

○幹事会や専門委員会の開催方法の効率化と経費削減について

○旅費は実費(領収書)払いとして、振り込みによる支払いとする

○役員手当の見直しについて

その後、地方ブロックおよび連合本部から活動報告を受けて意見交換を行い、質問・意見に対する考え方を含めて確認しました。

協議事項については、第28回定期総会開催に向けた準備や旅費規定の一部改正等を含めて全体で確認し、第4回幹事会を終了しました。

ブロックからの

活動報告

北海道ブロック

この間、四役会議と幹事会を開催して健康保険証存続に

向けた取り組みについて、首長への申し入れなども含めて検討してきた。また、マイナ保険証などに関わる会員向けのQ&Aなどの作成も検討している。

組織拡大は3月がひとつの節目となるので連合北海道とも連携をして取り組んでいる。

東北ブロック

事務局長会議を開催して、政策・制度要求の取り組みについて確認してきたが、役員が変更になった県もあるのが状況に合わせて進めていくこととしている。ジェンダー平等の取り組みも少しずつ前進してきている。5月29日に定期総会を予定している。

関東ブロック

ブロックとしての報告書がまとまりきれていないので後ほど資料を送るようにしたい。また、どの県も役員体制の構築に苦慮しながら選出している状況である。健康保険証存続の取り組み

については、地方連合会と調整をしながら進めていきたいと考えている。

東海ブロック

4月に予定している事務局長会議において、取り組み報告や活動について議論していくこととしている。また、東海ブロックとして統一的な活動を企画することについても検討していくこととしている。

北陸ブロック

能登半島地震以降、ブロックとしての活動はできていない。各県では復興支援の取り組みを行っている。また、ジェンダー平等委員会を立ち上げてきている。

健康保険証存続の取り組みも議員と連携しながら取り組んでいる。10月13日に定期総会を予定している。

近畿ブロック

各県において、ジェンダー平等学習会や幹事会を開催してきた。また、会員を対象とし

たレクリエーションやイベントなどを開催している。(報告書より)

中国ブロック

各県において総会を開催して、活動方針に沿って取り組みを進めてきている。政策・制度要求の提出や健康保険証存続の取り組みおよびジェンダー平等学習会などについて実施してきた。

四国ブロック

この間ブロック幹事会を開催してきた。政策・制度要求も逐次実施してきている。また、確定申告に関する無料相談会を実施して地域と連携をしている。

健康保険証存続の取り組みについても、各地域の状況に合わせて工夫しながら進めている。

九州ブロック

明日、ブロック幹事会を予定しているので、健康保険証存続の取り組みやジェンダー

平等学習会など、今後の取り組みについて確認する予定にしている。

連合の集会等についても参加をしてきた。

連本部会

能登半島地震に関する被災状況や連合の取り組みおよびカンパ活動等について報告がされた。

支援カンパは、3月7日集約で総額約1億8500万円となり、被災3県に配分をしていくこととしている。

2024春闘について、30年ぶりの賃金引き上げ率となった。退連の健康保険証存続に向けた取り組みに対する連合の対応について情報共有等の報告がされた。

お詫びと訂正

「ふれあい情報第379号」で紹介した「ジェンダー平等学習会」(動画)のホームページへのアップについては、都合によりできなくなりましたのでお詫びし訂正させていただきます。